



展覧会概要

日本刀の代名詞とも称される「正宗」。鎌倉時代、相模国の刀工である正宗は、明るく輝く地鉄に沸主体の躍動的な刃文を表す作風を完成し、後世に大きな影響を及ぼしました。室町時代の武家社会においては将軍へ献上するに相応しい刀工とされ、戦国時代には織田信長や豊臣秀吉が正宗の刀剣を愛好したことにより、正宗の評価はさらに高まり、江戸時代にはその価値が不動のものとなりました。

本展覧会では刀剣の受容の歴史を紐解きながら、尾張徳川家に伝来した正宗と相模伝の名刀をご紹介します。

展覧会基本情報

- ◆展覧会名 特別展 名刀正宗と相模伝
- ◆会場 徳川美術館 本館展示室
- ◆会期 2022年5月28日(土)～7月18日(月・祝)
- ◆開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日 月曜日(但し7月18日(月・祝)は開館、翌19日(火)は閉館)
- ◆観覧料 一般1,400円 高・大生700円 小・中生500円
※蓬左文庫展示室にて同時期開催の企画展「大名の冠・婚・葬・祭」と共通
※20名様以上の団体は一般1,200円 高・大生600円 小・中生400円
※毎週土曜日は高校生以下無料
- ◆作品数 60件(国宝1件・重要文化財9件・重要美術品4件含む) ※会期中展示替えあり
- ◆主催 徳川美術館 名古屋市蓬左文庫 読売新聞社
- ◆協力 名古屋市交通局

プレス内覧会

2022年5月27日(金)

プレス内覧会：午後1時30分～3時 受付：午後1時15分 会場：徳川美術館 講堂

展覧会担当学芸員による概要解説の後、自由取材。

企画展「大名の冠・婚・葬・祭」のプレス内覧会も同時に開催いたします。

・内覧会開催日に限らず、取材は随時承ります。

・動画撮影につきましては開館時間外も対応いたしますので、ぜひお気軽にご相談ください。

序 尾張徳川家の刀剣を考える

尾張徳川家の刀剣コレクションは、初代義直が父・徳川家康から受け継いだ品にはじまり、武家社会における贈答の慣習のなかで歴代当主が受け取った刀剣や、贈答に用いるために購入した刀剣などが加えられ、形作られていきました。時代の変遷を経て、現在、徳川美術館には刀剣だけでおよそ五百振が伝来していますが、その数の多さゆえ、全体像を把握することは容易ではありません。そこで今回は、江戸時代に最も評価された鎌倉時代の刀工・正宗と、正宗の作風（鎌倉流／相州伝、本展覧会では相模伝）を切り口に、本コレクションの成り立ちや特性を探ります。

一章 室町将軍への献上刀

本来武器である刀剣は、室町時代になると高級品・美術工芸品として、様々な行事で贈答に用いられるようになります。将軍への献上には、特に希少価値の高い名刀が相応しいとされました。正宗も名工の一人に挙げられています。古くから刀剣の産地であった山城国（京都府）・備前国（岡山県）の名工が多く選ばれています。

本コレクションにも、将軍への献上に相応しいとされていた山城国の宗近や備前国の正恒といった名工の作が少なからず含まれていることから、室町時代の評価基準や価値観が江戸時代にも引き継がれていたことを確認できます。

二章 贈答の花形、正宗

正宗の刀剣は、明るく輝く地鉄に、一言では捉えきれない変化に富んだ刃文を表すところが特徴です。この躍動的な作風は戦国時代の天下人、織田信長・豊臣秀吉に好まれ、家康の頃には正宗が最上の贈答品であるとする一種の「正宗ブーム」が起きたと考えられています。

価値の高い正宗の刀剣を所持できることは、家格の高さを示しています。本コレクションに正宗と名の付く刀剣が十振以上あることも、御三家筆頭ならではのと言えるでしょう。



重要文化財 短刀 銘 正宗 名物 不動正宗
豊臣秀次・徳川家康・前田利家・前田利常・
徳川秀忠（2代将軍）・徳川義直（尾張家初代）所持
鎌倉時代 14世紀



重要文化財 刀 金象嵌銘 正宗磨上 本阿弥（花押） 名物 池田正宗（部分）
伊達政宗・池田長吉・徳川秀忠（2代将軍）・家光（3代将軍）・義直（尾張家初代）所持
鎌倉時代 14世紀



国宝 短刀 無銘 正宗 名物 庖丁正宗
徳川家康・徳川義直（尾張家初代）ほか所持
鎌倉時代 14世紀

三章 もう一人の天才、貞宗

正宗が作り上げた作風、相模伝は、弟子たちに受け継がれていきます。中でも正宗の作風を忠実に継承しつつ、入念な彫りに力量を発揮した刀工が貞宗です。貞宗は室町時代の将軍への献上刀にも名が挙げられた名工で、江戸時代にも正宗に次ぐ評価を得ていました。

尾張徳川家では当主が子や孫の世代へ通過儀礼などの折々に刀剣を贈りましたが、貞宗の刀剣は代替わりなどの重要な機会にも選ばれており、高く評価されていたことがわかります。

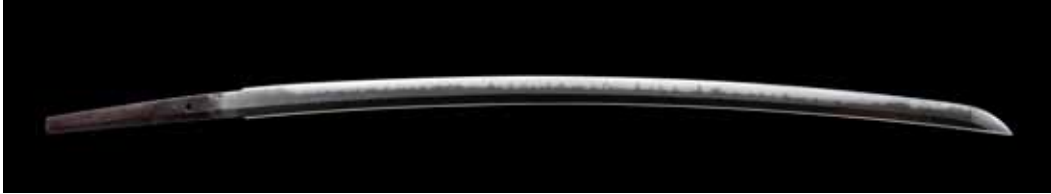


重要文化財 脇指 無銘 貞宗 名物 物吉貞宗
徳川家康・徳川義直（尾張家初代）ほか所持
南北朝時代 14世紀

四章 相模伝の黎明

相模国では、鎌倉幕府が名工を招聘したところから作刀の歴史が始まり、山城国粟田口派の国綱、備前国の助真・国宗が鎌倉へ移住したと伝えられています。こうした実力ある先達の流れを継ぐのが、新藤五国光であり、直線的な刃文の短刀に優品を多く残しています。この国光の門下から、稀代の名工・正宗が現れたのです。

本コレクションは、時代や地域を超えた幅広い刀工の作品で構成されており、国光ら相模国の刀工の系譜も追うことができます



重要文化財 刀 無銘 助真
徳川慶勝(尾張家 14 代)・徳川茂徳(尾張家 15 代)所持
鎌倉時代 13 世紀

五章 正宗の弟子たち

正宗の作風を受け継いだ相模国の刀工のうち、南北朝時代の広光も特筆すべき存在です。広光は正宗の躍動的な刃文を発展させ、皆焼と呼ばれる装飾性の高い刃文を創出しました。秋広・正広は広光の作風を受け継ぎ、室町時代には広正・綱広らへと作刀の伝統が引き継がれました。

江戸時代には、正宗とともに相模国の刀工の評価が高まりました。そのため本コレクションにも、将軍からの下賜品や、当主の指料として用いられた相模刀が残されています。



刀 銘 相州住広次 明応九年八月日
徳川治行(尾張家 9 代宗睦嫡子)・齊荘(尾張家 12 代)所持
室町時代 明応 9 年(1500)

六章 全国へ広まった相模伝

正宗の作風は、相模国にとどまらず全国の刀工へ影響を与えました。中でも鎌倉時代の越中国(富山県)の刀工・郷義弘は正宗の作風を良く継承し、正宗の弟子とも伝えられ、江戸時代には吉光・正宗と並び称されました。

本コレクションには義弘はもちろん、越中国の則重(鎌倉時代)や、備前国の兼光(南北朝時代)など、正宗風を示す刀工の作品が多く含まれています。江戸時代の武家社会における正宗とその系譜を引く刀工たちの絶大な人気、本コレクションにも投影されているのです。



重要文化財 刀 無銘 郷義弘 名物 五月雨郷
黒田長政・徳川秀忠(2 代将軍)・前田利常・家光(3 代将軍)・光友・綱誠遺物・綱吉(5 代将軍)所持
鎌倉時代 14 世紀

展覧会関連イベント

◆学芸員の推しトーク「名刀正宗と相模伝」

展覧会で特にご覧いただきたいポイントや、企画構成する上でこだわったポイントなど、担当学芸員ならではの視点で見どころをお話します。

講師： 当館学芸員 安藤香織

日時： 2022年5月29日（土）午後2時～2時30分（開場：午後1時30分）

定員： 60名 ※当日会場にて先着順・入館者聴講自由

会場： 講堂

◆土曜講座「尾張徳川家の正宗・貞宗」

講師： 当館学芸員 安藤香織

日時： 2022年6月4日（土）午後1時30分～3時（開場：午後1時）

定員： 60名

※事前申し込み制で既に満席、空席が出た場合のみ当日先着で受講可

会場： 講堂

受講料： 800円（入館料別途必要）

◆トクガワナイトミュージアム ver.4

ゆっくりと「名刀正宗と相模伝」展ならびに「大名の冠・婚・葬・祭」展の鑑賞をお楽しみいただける特別な夜間開館を実施いたします。

日時： 2022年7月9日（土）17時30分～19時30分

定員： 100名（最少催行人数30名）

料金： 一般3,800円（税込）学生1,000円（税込・大学生以下）

購入方法： オンラインチケット 購入先着順 <https://www.e-tix.jp/tokugawa-art-museum/>
館内ミュージアムショップ

発売日： 2022年6月4日（土）午前10時～



視聴者・読者プレゼント提供

特別展「名刀正宗と相模伝」を、ぜひ御社媒体にてご紹介ください。

画像を1点以上使用してご紹介いただいた場合、視聴者・読者プレゼントとして本展覧会のご招待チケット（非売品）を、1媒体5組10名様にご提供いたします。（本券で同時期開催の企画展「大名家の冠・婚・葬・祭」もご覧いただけます。）

お問い合わせ 取材は随時お受けいたします



[報道関係対応窓口] 徳川美術館 管理部

吉川 由紀 yuki@tokugawa.or.jp

竹内 大知 d.takeuchi@tokugawa.or.jp

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL：052-935-6262（10時～17時受付）

052-935-8222（営業時間外受付）

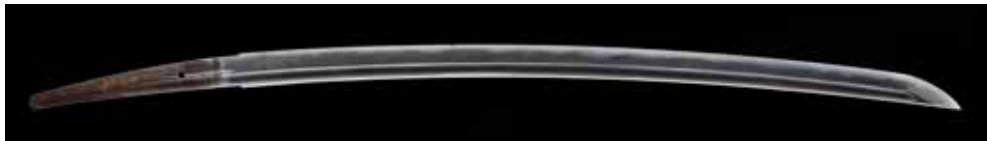
FAX：052-935-6261

特別展 名刀正宗と相模伝

広報画像申請書 使用期間：～2022年7月18日



① 重要文化財 短刀 銘 正宗 名物 不動正宗
豊臣秀次・徳川家康・前田利家・前田利常・
徳川秀忠(2代将軍)・徳川義直(尾張家初代)所持
鎌倉時代 14世紀
徳川美術館蔵



② 重要文化財
刀 金象嵌銘 正宗磨上 本阿弥(花押) 名物 池田正宗
伊達政宗・池田長吉・徳川秀忠(2代将軍)・家光(3代将軍)・義直(尾張家初代)所持
鎌倉時代 14世紀
徳川美術館蔵



③ 国宝 短刀 無銘 正宗 名物 庖丁正宗
徳川家康(駿府御分物刀剣元帳品)・徳川義直(尾張家初代)ほか所持
鎌倉時代 14世紀
徳川美術館蔵



④ 重要文化財 脇指 無銘 貞宗 名物 物吉貞宗
徳川家康(御讓品)・徳川義直(尾張家初代)ほか所持
南北朝時代 14世紀
徳川美術館蔵

使用媒体

放送日・発売日

プレゼント提供 希望する ・ 希望しない

貴社名

ご担当者様

データ送付先アドレス

ご連絡先電話番号

[ご利用にあたっての注意事項]

- ・画像のご利用は本展覧会の紹介用途のみに限ります。
- ・部分アップのトリミング、色変更等の加工はご遠慮ください。
- ・二次利用不可です。
- ・画像には最低限「タイトル」と「所蔵」のクレジットを明記してください。
- ・内容確認のための校正原稿をお送りください。
- ・ご掲載誌、DVD等を1部「徳川美術館 管理部 広報宛」でお送りください。



〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL: 052-935-6262 (10時～17時受付)

052-935-8222 (営業時間外受付)

FAX: 052-935-6261

担当: 吉川 yuki@tokugawa.or.jp

竹内 d.takeuchi@tokugawa.or.jp